

年度末の活動ご報告

経営支援 NPO クラブ

理事長 山口 浩利

平成30年度も最終月の三月に入り、当NPOクラブも平成最後の決算期を迎えることとなります。NPOクラブの主たる活動の推移を概略ご報告致します。

中小企業支援事業

年間を通してNPOクラブの活動マンパワーの約8割強を投入する中小企業支援事業は、初期予測を大幅に上回る受託量になりましたが、新規入会の会員諸兄の大いなる貢献と関西グループの拡充によって何とか乗り切ることが出来る目処がたちました。

また今年の1-2月の展示商談会は例年に比べて数が多く、会員は連日の展示場通いで大変でした。最終月の3月は各プロジェクトのチームリーダー達は報告書の整理と纏めに追われています。

今期の収入約9千3百万円強の内訳は、委託元としては自治体関連が54%、各地区経産局関連が20%、中小企業中央会が12%、その他14%、の略構成となっています。

また、近畿大阪を基点とする関西グループも5年目を迎え、会員も20余名となり関西以西を中心に活動領域を拡げてきましたが、専用の事務所がなかったため、本年3月より関西グループとしての事務所を開所することになりました。

全体の活動のボリュームとしては今期が過去最高の感があり、頑張りすぎて質の低下を招かないようにしようとの注意喚起の声も挙がる所以ではあります。

地域の自治体からの委託は、元来販路開拓支援を基本目的とする受託案件が主ですが、マッチングや展示会出展に先立ち実施するブラッシュアップの内容も販路開拓に先立ち企業が有す課題の聴き出しとアドバイスにも注力し、また個別に企業が希望する課題の解決支援や各県の支援センターの地域コーディネーターの指導者の育成を目的とする案件にも参加しています。

各地区経産局の関連では、「地域中核企業創出・支援事業」のネットワーク型とハンズオン型の双方、及び「地域ものづくり中小企業事業化支援事業」直接又は間接（下請け又はチームの構成メンバー）で今期は受託が増加しました。

社会貢献活動

次世代若者育成支援については、例年に継続して文科省所管の科学技術振興機構主催のサイエンスアゴラに5年連続参加して、会員の実務経験の披露やQ&Aで学生の好評を得た

り、大学や商工会とのコラボで若者と会話の機会を持ち、またセミナーの講師役も増えてきました。

東北復興の支援活動も、例えば避難解除地区の支援策の模索等から実施案への組織づくりに活動を継続しています。

講演会活動

会員の経験に基づくバライティに富んだ内容の演題を用意して、講演の機会を待っていますが、固定した顧客向けからの拡がりは減多にならないようなので、演題に合いそうな顧客層に知っていただく工夫をおよびPR活動を展開中です。

NPOクラブのインフラ整備

- ・ホームページのタイムリーな更新と、広報目的に合致した改定のメンテナンスを継続中です。
- ・会員数の増加に伴い、8年間使用していた同じビルの6階から1階に移転し、談話コーナーや面談スペースの増加、共用PCコーナーの追加設置しました。
- ・会員のシステム利用で、共用のポータルサイト Google のシステムの便利化（供覧サイトの充実、経費処理ソフトの改良、会議室予約システムを図りました。

<私共NPOのホームページ：<http://www.ka-npo.com/>」をご覧ください、ご意見等賜れば大変幸甚でございます。>